別表１　　　　　　　　　　　耐風診断調査票（一次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 | | | | |
| 一次診断者 | 所属名 |  | | | | |
| 診断者名 |  | | | | |
| 所在地 |  | | | | |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： | | | | |
| 評価依頼者 | 氏名 | 様　　　　　　連絡先： | | | | |
| 建築物の概要等（ヒアリング） | 所在地 |  | | | | |
| 竣工時期 | 築年数　　　年 | | 竣工時期　　　西暦　　　年 | | □不明 |
| 増築有無 | □無　□有　増築部築年数　　　　年　　　概要： | | | | |
| 階数 | □平屋 | □2階建 | | 屋根勾配：□６寸以下　□急勾配 | |
| 屋根形状 | □寄棟　□切妻　□入母屋　□片流れ　□その他（　　　　　） | | | | |
| 屋根材 | □粘土瓦　□PC瓦　□J形　□F形　□S形  □瓦かどうか不明　□瓦以外の屋根材（※） | | | | |
| 屋根改修 | □無　□有　実施時期　西暦　　　年　　概要： | | | | |
| 屋根不具合 | □無　□有　□雨漏り（　　　　）　□しっくいのはがれ（　　　）  　　　　　　□その他（　　　　） | | | | |
| 屋根診断（地上からの目視等） | 全体調査 | □屋根に被害がある　□屋根に変形・歪みがある  □瓦が飛散している　□瓦が崩れている　□瓦が破損している  □瓦にずれや浮上がりがある　□接着剤の流出痕がある  □その他の破損等（　　　　） | | | | |
| 適合診断 | □上記の「全体調査」に該当する項目がある | | | | |
| □2001年より以前に施工された瓦屋根の建築物であり、屋根改修がされていない。 | | | | |
| □瓦屋根が土葺き工法だと思われる。　□瓦屋根の工法が不明 | | | | |
| □瓦屋根が非防災タイプだと思われる。□瓦屋根の種類が不明 | | | | |
| □瓦屋根の緊結方法が下図のような方法となっている。    瓦の配置が蛇行しており、留め付けがされていない可能性が高い  瓦にボルト・ビス等による緊結がない  瓦にビス・銅線等による緊結がない  瓦にビス・銅線等による緊結がない  平部がずれ  ている  緊結材が見える  袖瓦に緊結材が  見えない  軒瓦に緊結材が  見えない | | | | |
| 診断結果 | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い（上記「適合診断」に該当する項目がない）。（※） | | | | | |
| □耐震性・耐風性を確認するためには二次診断の実施が必要（上記「適合診断」に該当する項目が1以上ある）。 | | | | | |
| 所見 |  | | | | | |

（※）瓦以外の屋根材又は安全性の高い瓦屋根は補助対象外。

別表１　　　　　　　　　　　耐風診断調査票（二次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 | |
| 調査担当 | 会社名・代表者 | 会社名：　　　　　　　代表者名： | |
| 所在地 |  | |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： | |
| 診断資格者名 | 氏名： | |
| 診断者の資格 | □瓦屋根診断技士　□瓦屋根工事技士　□かわらぶき技能士（1級、2級）  □建築士（1級、2級、木造）　□その他 | |
| 依頼者 | 氏名 | 様 | |
| 対象建物 | 住所 |  | |
| 瓦の種類 | □Ｊ形防災瓦　□F形防災瓦　□S形防災瓦  □Ｊ形非防災瓦　□F形非防災瓦　□S形非防災瓦  □PC瓦　□その他（　　　　） | |
| 構法 | □引掛け桟　□土葺き　□接着補強　□その他（　　）  □不明（　　　） | |
| 平部 | 桟瓦の留め付け | □全数　□千鳥緊結　□（　）枚おきに留め付け　□無緊結  □不明（　　　） | |
| □くぎ（1本以上）　□ねじ（1本以上）　□緊結線　□その他（　）□不明（　　）  □瓦の種類がF形非防災瓦である場合、くぎ等2本以上で緊結（1本は不可）  □ガイドラインによる標準仕様（　　　　　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  部位：□瓦　□接合部　□瓦桟木　□下葺き材（種類：　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| 軒部 | 軒瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線  　　　　　　　 □ガイドラインによる標準仕様（　　　　　　）  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| けらば部 | 袖瓦の留め付け | □全数3点緊結　尻部（2本以上）：□くぎ　□ねじ　□緊結線  　　　　　　　　補強（1本以上）：□パッキン付ねじ　□7形くぎ　□緊結線  　　　　　　　　□ガイドラインによる標準仕様（　　　　　　）  □全数補強なし　□補強なし　□不明（　　） | |
| 劣化・損傷等の状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□割れ　□浮き　□ズレ　□飛散・脱落　□損傷  □その他（　　　） | |
| 棟部 | 棟の種類・状態 | □冠瓦伏せ棟の場合 | 冠瓦の固定：□全数留め付け　□（ ）枚おきに留め付け □なし  　　　　　　□ねじ　□くぎ　□緊結線　不明（　　　）  □ガイドラインによる標準仕様（　　　　　　） |
| □のし瓦積み棟の場合 | 大棟（ ）段　隅棟（ ）段　□下り棟（ ）段  冠瓦の固定：□ねじ　□トンボ（棟芯あり）　□トンボ（棟芯なし）　□大回し等　□なし　□不明（　　　　　）  のし瓦の固定：□緊結線（相互緊結）　□なし　□不明（　　　　）  □ガイドラインによる標準仕様（　　　　　　） |
| 劣化状況 | □劣化等なし　□劣化等あり　□不明（　　　　）  状態：□浮き・ズレ　□脱落　□損傷　□緊結材の切れ・浮き  　　　□しっくいの劣化　□その他（　　　　　） | |
| 改修が必要な部位★ | | □平部　□軒部　□けらば部　□棟部　□その他（　　　） | |
| 診断結果 | | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い。（上記「改修が必要な部位」がない） | |
| □耐震性・耐風性を確保するためには改修の実施が望ましい。（上記「改修が必要な部位」が1つ以上ある） | |
| 所見・要望事項 | |  | |

※「ガイドライン」とは、「瓦屋根の標準設計・施工ガイドライン」のことをいう。

※下線は令和２年国土交通省告示第1435号により改正（令和４年１月１日施行）された昭和46年建告第109号に規定されている仕様を示す。

※著しく損傷・劣化等している場合は、その状況や位置が分かるように写真を撮影し、屋根伏図等にその位置と写真番号を示す。

★「改修が必要な部位」が告示基準に適合する場合、原則、その部位の改修工事については補助対象外とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □屋根伏図　□その他（　　） | | |
| （写真を添付） | | （写真を添付） |
| 改修が必要な部位 | | 改修案 |
| □1階  □2階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）  □その他（　　　） |  |
| □1階  □2階 | □平部　□軒部　□けらば部  □棟部（　棟）  □その他（　　　） |

別表２（第７条関係）

コンクリートブロック塀の点検表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 点検項目 | 点検内容 | 点検結果 | |
| 適合 | 不適合 |
| １　高さ | 2.2ｍ以下 | はい | いいえ |
| ２　壁の厚さ | 高さ2ｍを超える塀で15ｃｍ以上 | はい | いいえ |
| 高さ2ｍ以下で10ｃｍ以上 | はい | いいえ |
| ３　鉄筋 | 縦筋は壁頂部及び基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされている | はい | いいえ |
| 壁内に径9ｍｍ以上の鉄筋が縦横80ｃｍ以内の間隔で入っている | はい | いいえ |
| ４　控壁(高さが1.2ｍを超える塀の場合） | 長さ3.4ｍ以内ごとに、控壁が塀の高さの1/5以上突出してある | はい | いいえ |
| ５　基礎 | コンクリート造の基礎がある  基礎の根入れ深さは30ｃｍ以上か | はい | いいえ |
| ６　傾き、ひび割れ | 傾き、ひび割れがある | いいえ | はい |
| 評価 | 6項目のうち1つでも不適合があれば、コンクリートブロック塀の安全対策が必要です | | |

組積造の塀の点検表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 点検項目 | 点検内容 | 点検結果 | |
| 適合 | 不適合 |
| １　高さ | 1.2ｍ以下 | はい | いいえ |
| ２　壁の厚さ | 十分ある | はい | いいえ |
| ３　控壁 | 長さ4ｍ以内ごとに壁面からその部分における壁の厚さの1.5倍以上突出している | はい | いいえ |
| ４　基礎 | 基礎がある | はい | いいえ |
| ５　傾き、ひび割れ | 傾き、ひび割れがある | いいえ | はい |
| 評価 | 5項目のうち1つでも不適合があれば、組積造の塀の安全対策が必要です | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 補助金対象確認 | | | |
| 確認項目 | 確認内容 | 補助対象 | 補助対象外 |
| 設置場所 | 避難路沿道等に面したもの | はい | いいえ |

|  |
| --- |
| 上記のとおり報告します。  　　　年　　月　　日  報告者（施工予定業者）  　住所  　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |
| 上記内容について適正であることを確認しました。  　　　年　　月　　日  確認者（町担当者）  　職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |

様式第１－１号（第７条関係）

　　年　　月　　日

鬼北町長　　　　　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

申請者

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

鬼北町木造住宅耐震改修等事業補助金交付申請書

鬼北町木造住宅耐震改修等事業補助金に要する費用について、下記のとおり補助金の交付を受けたいので、鬼北町木造住宅耐震改修等事業補助金交付要綱第７条の規定により関係書類を添えて申請します。なお、納税証明書等の不足する書類がある場合は、鬼北町が調査することに同意します。

記

１　補助対象区分　　□耐震改修設計

□耐震改修工事(耐風改修工事を含む。)

□耐震改修工事(耐風改修工事を含まない。)

□耐震改修工事監理　☐段階的耐震改修設計

☐段階的耐震改修工事　☐段階的耐震改修工事監理

□ブロック塀等安全対策工事

２　補助金交付申請額　　金　　　　　　　　　　　円

３　完了期日　　　　　　　　　　年　　　月　　　日

* 自署をもって押印を省略することができます。

第１－２号様式（第７条関係）

事業実施計画書

（耐風改修工事）

１　補助対象木造住宅

|  |  |
| --- | --- |
| 所　有　者 | 住所 |
| 氏名 |
| 木造住宅の位置 | 所在地 |
| 基準風速 | m/s |

２　事業計画

瓦屋根を地震・強風に対して、安全な構造とすることを目的として葺替え工事を行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 既存瓦屋根の種類 | □J形　□F形　□S形　□PC瓦　□その他 |
| 瓦屋根の葺替え面積 | ㎡ |
| 葺替え後の屋根の種類 |  |
| 事業経費 |  |
| 事業開始（予定）年月日 | 年　　　　月　　　　日 |
| 事業完了（予定）年月日 | 年　　　　月　　　　日 |

様式第１－３号（第７条関係）

事業実施計画書

１　補助対象ブロック塀等

|  |  |
| --- | --- |
| 所有者 | 住所 |
| 氏名 |
| ブロック塀の位置 | 所在地 |

２　事業計画

　ブロック塀等の安全性向上に役立てることを目的として除却・建替えを行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 塀の規模及び構造 | コンクリートブロック塀　・　石積塀　・　レンガ塀 |
| 除却する塀の長さ | ｍ |
| 新設するブロック塀等の長さ | ｍ |
| 事業経費（除却） |  |
| 〃　　（改修） |  |
| 事業開始（予定）年月日 | 年　　　月　　　日 |
| 事業完了（予定）年月日 | 年　　　月　　　日 |

３　添付資料（ブロック塀等の安全対策工事）

　ア　別表の点検表（実施した者（設計事務所又は建設業者に限る）の氏名・押印のあるもの）

　イ　ブロック塀等の写真・撮影方向位置図

　ウ　位置図、配置図、平面図等（除却又は建替え内容が記載されたもの）

　エ　ブロック塀等安全対策工事費見積内訳書

　オ　納税証明書等（同一世帯者を含む。）

　カ　同意書（様式第２－１号）

　キ　その他町長が必要と認める書類

様式第２-１号（第７条関係）

同　　意　　書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　耐震改修設計

耐震改修工事

耐風改修工事

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　耐震改修工事監理

　建物所有者　　　　が、次の建築物の　段階的耐震改修設計

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　段階的耐震改修工事

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　段階的耐震改修工事監理

ブロック塀等安全対策工事

を実施することについて、利害関係者として同意いたします。

　　　　　　　　　　　　　　　（該当するものに○をつけて下さい。）

建築物又はブロック塀等所在地

|  |
| --- |
|  |

　　　　　　　　年　　月　　日

建物占有者　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

様式第２-２号（第７条関係）

年　　月　　日

鬼北町長　　　　　　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

申請者　　氏　　名　　　　　　　　　　　　　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

代理受領予定届出書

　私は、鬼北町木造住宅耐震改修等事業の実施にあたり、補助金の受領を下記の事業者に委任する予定です。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 住　　所 |  |
| 事業者名 |  |
| 代表者名 |  |

* 自署をもって押印を省略することができます。